

奥飛騨上宝町鼠餅 沢上（そうれ）谷 K.O記

メンバー：AT、RT、HM、JM、IO、KO、YM、HH（8名）

入溪8；15 林道との出会い12；30 駐車地13；30

昨日は明け方までの雨が上部では雪になり、冷たい岩登りと思わぬ雪に敗退したピークハントでしたが、2日は晴れの良い天気になりました。そこで、予定通りMS夫妻も合流し、総勢8人で沢上谷を遡行しました。

岩盤の発達したナメの連続する美しい沢で、初心者でも安心できる沢です。そして、この沢はガイドの案内コースになっているため、滝や高巻いた後の沢への下降路などすべてにロープフィックスがされ、装備は何も必要なかった。さらに下山も林道を利用するため、何の問題もない。ただ、本流だけでは物足りないし、支流を2本登ってそれぞれの突きあたりにある滝も見落とすことの出来ない立派な滝のようです。と言うのも実は支流を1本見落としてしまった。

添付の地図の軌跡はMSさん作成のものですが、GPSは沢ではあまり役に立たなかったようです。

我々が入った支流の突きあたりにあったのは「岩洞滝」で、帰りの林道からも見ることができた。



岩洞滝



林道から見た岩洞滝



見つけられなかったもう一つの支流は入溪地点の橋を渡って沢に入り直してから10分ほど行ったところにありました。右の写真の小さな滝を登っていけば「五郎七郎滝」に行くことができたようである。

この時期の沢登りは最初だけ水の冷たさを感じましたが、そのうち自然と水にジャブジャブ入っていました。また、イワナの魚影の濃い沢でした。竿が有ればいっぱい釣れたであろうに、残念なり。



下山後、平湯温泉に入浴して帰りましたが、東海北陸道の工事による渋滞で2時間のノロノロに付き合わされました。





沢登りを終えて全員で記念撮影

動画の記録は、~~A TさんのHPに掲載されています。~~

~~<http://www.mountain-ski.net/blogs.html?p=9>~~